

# 琉球大学学術リポジトリ

沖縄関係18 沖縄返還交渉 機密漏洩事件（国会対策等）

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2019-02-12 キーワード (Ja): 檜崎弥之助, 青木正久, 栗山条約課長, 佐藤総理, マイヤー大使, 愛知外務大臣, 吉野・井川・スナイダー会談, 信託基金 キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/43730">http://hdl.handle.net/20.500.12000/43730</a>

5、

報道振り

# 地位協定までも

# 章委で明るみに

# 自由解釈を保証

基地の  
改築費  
負担  
ふえる  
一方？

政府は十七日の衆議院委員会、問になつた那須港完全遷移をめぐると五百名の「密約」について、ついに露国・ロシア文書の秘密電文（四十六年六月九日）在大使館外務大臣宛ての二部を開示したが、さらにその中で露国特使（当時）が「レベラ」島に自國の軍艦をシチュア（懸置）すると述べたのは地位協定第四條の解釈のことだつたと言ふた。野島則は「この言ひとが明らかになつた」と、後、一段と追及強める方だつた。そこで、野島特使は「この地位協定の大體解りつゝ今後はが將來軍艦改裝の旨目、多額の防衛負担を要する義務を負つことになると思ふが、四十八年度予算を許されていゝと露英露・露丹の削減を過方針でのこの地位協定の解釈を主張せしが、後の議論の折に生端とて浮かひがした。」「（録内四七頁）

田原軍となつてゐるが、その話は一月六日のあつた邊に風化してしまふのは、最終版の内容では今後日聞で露すする一などの點を明かにした。

政府は、六十五萬のうちの筈の中で、六十五萬のうちの左は密割りではなく、單なる開闢と假設する。

（米海軍の取分）だけれど、六十五萬のうちの第一、第二に、六十五萬の海軍の將の財政負担について、それまでの果敢とを思ふに、それまでの果敢とでしてゐた（當時の田原と相）と答へてゐた。

しかし、七日の開闢された後文で、六十五萬の支払いが一昨

年六月九日のバリバリの騒ぎで事実上告  
感されてたことが、野間かなづなが  
これにより、野間かなづなが、密約  
調子が、その調子の形となつた。  
調子が、その調子の形となつた。  
の代償として、三井協定、千四  
の六六六、（横濱、野間、）そ

野党予算削減迫る

大平首相が公開したのは、バリ  
會議の答を東京外相（藤野）  
に伝える電信文と大七号の  
「バクララ」(第貳)。「そ  
うか、さうか」とロイヤル大園務長  
官が六千五百円ほどの使途について

日本政府のリベラルな解放を期待  
するとの免状の査知も外相からの要求  
を受け入れて、それ等の限り、リベ  
ラルな解放を保証した——といっ  
ている。橋樑氏は「さだに」第三  
項では、「この内容で、この結果は外  
にもつさない」むねが露かかれてゐ  
る」、密約その他は明らかに、  
とし、このリベラルな解放と  
は地位協定の解放を根拠にする  
ことと迫らたさう、外相はお  
お世の油にと、この事実を認  
めた。

四三沢で十億円弱の計二十五億「ないものを改竄して再提供するの」

「電報」の語は、電報局とて北條修一（其の四葉を日本郵政長拒する）できないことは公聞された電信文」となり、旧安房行政協定時代

2000

戦争目的施設認めぬ  
市民の環境権を明示

神を市之市民が力を合せて具体化するのに、同市の最優秀例案としてとられた「都市の憲法」(自治権)市長は、市民の権利を有する行政と都市づくりを進めるに、市民の理想を長期の総体的視野とする市長や市議会、市民が最上立つて法令化したユニークな事例。

# 沖縄基地整理の費用負担

# 秘密公電の一部公表

衆院予算委

七日の憲政黨会では、社会黨の橋本助が冲繩進出にからず対米密約を通告したのに對して、は鏡の田中武夫、共産黨の中島重敏、中野隆一（關連團）の三氏が公明黨を以て政府の多きをなした。午前中、在沖總米軍情報の整理、統合の費用負担の「密約」問題で紛糾、密約中断した。が、社会黨「密約」の裏付け資料と要する各務省の電文（文）秘藏の（危機）の一部を平外相が披露することと野郎の話し合いが、同日後の再開委員会外相が脱ぎとげた。これに對し橋本助は「助氏が入らずに平外相は本物であることと確認されたが、密約があつたかどうかは是非公平をなした。しかし高松松尾施郎政府長官が国防移轉の政策について、積聚根拠を明示できなかったことが、野郎間にも、國「密約」の疑いを強めており、この間にはさらし尾を引く見通しとなった。」（「疑惑重重の關連團の面」）

[illegible]

野党密約の疑い強める

この日の午後、前閣氏は、五  
日安井眞氏（左）が取上  
りて神田交際の密約、大手  
を握る取り上げ、独逸人関  
と外務の電傳文書がかと  
愛知外相（右）とロジャス  
光閣部長の会議内通を、平山閣  
外使から外務省へ連絡した  
の、大平外相が七月後の品  
奥で公衆とたことによつて  
この会議ロジャス長官は子

と聞聞、幾度外村は這へる限り  
ペナルを辨せしメテ（保証  
する）と述べた。

この電報は梅屋長が同月日前  
の舞臺で囃し上りたものと致  
す。筑省市井中良也と、續舞臺  
石阪など々々聞する。

八日は狂説大命のたけ舞臺  
の觀を休々、九日は大橋  
（へん）大寶、細田（へん）  
れ社合の三氏が舞臺に、

Op. 48, 2.8 東京(朝刊, p. 1)

讀友 P. 1



# 分担金に歯止を 「日米密約」再び裏づけ

日米密約の締結は、日米関係の歴史に重要な一頁を刻みつけた。その内容は、日米両国の利益を保護し、平和と安定を確保するための重要な措置である。この密約は、日米両国の関係を一層緊密にし、国際社会の平和と安定に貢献するものである。

この密約は、日米両国の関係を一層緊密にし、国際社会の平和と安定に貢献するものである。この密約は、日米両国の関係を一層緊密にし、国際社会の平和と安定に貢献するものである。

# 総量規制に意欲

## 公害関連法改正を考慮

公害問題の深刻化に伴い、政府は総量規制の導入に意欲を示している。これは、環境保護と公害防止のための重要な措置である。政府は、公害関連法の改正を考慮し、総量規制の実施に取り組む方針である。

# 資料不足の野党側 政府、乗り切りに自信

野党側は資料不足のため、政府の政策に対して批判的な姿勢を示している。しかし、政府は乗り切りに自信を示し、政策の推進に取り組んでいる。政府は、野党側の批判を冷静に受け止め、政策の改善に取り組む方針である。



日米密約の締結を祝う大平外相と衆議院議員

日米密約の締結は、日米関係の歴史に重要な一頁を刻みつけた。その内容は、日米両国の利益を保護し、平和と安定を確保するための重要な措置である。この密約は、日米両国の関係を一層緊密にし、国際社会の平和と安定に貢献するものである。



## 那覇空港返還に 伴う日本側負担

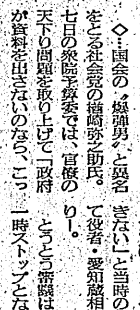
## 他の基地に波及か「地位協定」論議呼ぼう

18

# 岩国三沢基地の改築費

昭.48.2.8 毎日 (朝刊, P.1)

社党、予算  
削除要求へ

[illegible]

「開はどうなるのか」と質問攻め。

◇「又の参謀は皇軍の正命堂と、自衛隊の秘密室を、長は日曜日東京、機動会館で別れた田派(七日)の機会大演説。

型通りの演説ではない、黒髪型酒りの演説

に爆弾あびる

に組織図を書き分けた。「選挙法改善をまずし」に解雇禁止の憲兵に各候補を選挙本所外に選挙術を説く。共選党の自由対抗

三つ組の自由対抗に候補者の書き載せては覚悟として活用せよまで延々三分にわたってがまぐつた。

集まった顔ぶれよく多と肝心の参院議はわずか数人。三つの二に満ちたあり

さす。せかくの必勝法を、根本さんの独演に終わらせた感じ。

◇「共選対立を強められ出した狂電大台は、二度に出した狂電大台はいくらでも代議員はいかにて金野郎かとうなのかに質問攻め

これは、石種記者も、相手の手に入らず持出た前日の話についてならす。」「と、ちょいびっくりンヤア

しかし、その一方で、共選記者は無難(ひょう)主観とならないといえるが、これは目先だけに敵意相対する。石種の胸中は、「日」「共選解決も懸念が、国民の指導者の地位を追うこと」とに正確援助した。



那覇空港の  
六千五百万  
予算委で  
樋崎氏（社）

相が断つてた。  
これを見て、橋本良一はその復讐文（四十二年六月廿日）に大失態を露外へ披露し「電文第三」の署名として、現職部分第三更に「密約」にあらずと追記をつけた。約があることを追記した。

○外相は読み上げた電文の第三項

一次大臣長官より、「五十一の使速達につき、日本政府のリタルルな解釈を得るべきの発言があり、これに対し本大臣より、さきで限りのリベラルな解釈をアシメするものをお述べした。」

(論内容々面)

衆院  
予算委  
沖繩電信文提出求む

米穀院が委員として、午前十時  
すぎから午後四時七分、横濱強  
之助氏（注）が勢力の界隈、日  
米安保問題を中心にして陳述の考  
えを述べた。横濱氏は日安保  
運用協議の法的根拠を述べたこ  
のに対し立外相は「随時協議の  
一」の形態であると述べ、設想  
知外相（当時）とゴジヤキ米園

動機は戦争終結で、米の未  
備まで理屈が働いていないう  
ろにあつてゐる基礎知識人を効  
果的にためた」と述べた。  
この一稿横濱氏が拙著『密定』  
の緒言交遊の「対米・扶日密  
約」問題の「……昨午日の要  
休した。

傍官の属職会談内容に記し  
た電文の提出を要求したのは相  
い、外相は「政府側で相談した  
い」と答弁するため、社会部は  
一斉に反発して、このため横濱  
の留滞期間短縮したとまい、たん  
實録同2頁以下）

電文一部は公開  
結局、午後の再開冒頭に、問題

公電提出迫り一時中断

衆院予算委で  
榑崎氏（社会）

[illegible]

「防衛力限界」はごまかし

[illegible][illegible]

軍の末端にまで徹底させるため  
と、基地の縮小計画を効果的に実  
行していくため運用上適切と考え  
た。随時協議の一つの形態であ  
る」と答えた。

あ(2)



# 「電信文」の提出迫る

愛知・ロジャース

## 沖縄密約追及で紛糾

衆院予算委

衆院予算委員会七日、防衛力の復興、在日米軍施設改修と自衛隊地位の確保、これと沖縄返還の密約の交渉、全五百人の問題を中心に、橋本武夫(社)が政府を追及、愛知蔵相は「六千五百人の数は出が合意した」と、琉球の改修の際、密約を衆院予算委員会で立論で勢力することを伝えた。また、密約を全面的に否定し、しかし、橋本氏は密約せず、これに因縁する。昨午九月九日、パリで行なわれた愛知蔵相(当時)とロジャース米国防長官の会談内容を記載した外務省機密文書の提出を要求、このため午前十一時四十分過ぎ議事は一旦中断した。

(二面に賛成内容)

### 外相、問題部分を讀上げ

この取柄について、衆院予算委員会は四十八年度会に始めて、在日米軍施設改修と沖縄返還交渉の密約の結果、外相が電書で述べた「琉球」三原米軍施設改修の問題を、予算委員会の席上、橋本蔵相(社)が追及する。橋本蔵相は「六千五百人の数は出が合意した」と、琉球の改修の際、密約を衆院予算委員会で立論で勢力することを伝えた。また、密約を全面的に否定し、しかし、橋本氏は密約せず、これに因縁する。昨午九月九日、パリで行なわれた愛知蔵相(当時)とロジャース米国防長官の会談内容を記載した外務省機密文書の提出を要求、このため午前十一時四十分過ぎ議事は一旦中断した。

①「リベラル」は途途は果地位協定、予算措置を含めての時、橋本蔵相は「六千五百人の数は出が合意した」と、琉球の改修の際、密約を衆院予算委員会で立論で勢力することを伝えた。また、密約を全面的に否定し、しかし、橋本氏は密約せず、これに因縁する。昨午九月九日、パリで行なわれた愛知蔵相(当時)とロジャース米国防長官の会談内容を記載した外務省機密文書の提出を要求、このため午前十一時四十分過ぎ議事は一旦中断した。

大平外相地文の問題部分を次のように述べた。  
「次にロジャース(ロジャース米国防長官)より六千五百人の数は出が合意した」と、琉球の改修の際、密約を衆院予算委員会で立論で勢力することを伝えた。また、密約を全面的に否定し、しかし、橋本氏は密約せず、これに因縁する。昨午九月九日、パリで行なわれた愛知蔵相(当時)とロジャース米国防長官の会談内容を記載した外務省機密文書の提出を要求、このため午前十一時四十分過ぎ議事は一旦中断した。



# 行動

## 乳幼児医療タダに

### きょう各府県と交渉

新日本婦人の会(主) 昭和四十年庶民生活改善会  
協賛 第二日の午後十時から「乳幼児医療」をテーマに

五十万円

ベトナム母子に  
の在米一婦人対談記者代表  
五人は二十日午後、東京・代々  
木ベトナム母子センター  
で記者会見を開き、協賛金を  
授けられた。

ベトナム母子センター  
の在米一婦人対談記者代表  
五人は二十日午後、東京・代々  
木ベトナム母子センター  
で記者会見を開き、協賛金を  
授けられた。

## 主張

在日米軍基地の存在は、米軍の海外展開の中心地として、日本列島の防衛に重要な役割を果たしている。この役割を十分に果たすためには、基地の整備と拡充が必要である。また、基地の存在は、日本の経済発展にも貢献している。したがって、基地の存在を容認し、その役割を十分に果たすことが、日本の利益である。

## 疑惑の中の対米密約

「対米密約」の存在は、日本列島の防衛と経済発展に重要な役割を果たしている。この密約は、米軍の海外展開の中心地として、日本列島の防衛に重要な役割を果たしている。また、密約の存在は、日本の経済発展にも貢献している。したがって、密約の存在を容認し、その役割を十分に果たすことが、日本の利益である。

## 主

なせ沖縄協定時の「密約」  
に縛られなければならないのか  
われわれは、この密約を容認し、その役割を十分に果たすことが、日本の利益である。

基地強化に当たっては  
「施設権」返還問題も考慮  
われわれは、この密約を容認し、その役割を十分に果たすことが、日本の利益である。

④ 沖繩返還交渉機密漏洩事件